

(発行)

石川県金沢市赤土町ニ13-1

石川県リハビリテーションセンター内

石川県高次脳機能障害相談・支援センター

電話 076-266-2188

石川県

高次脳機能障害相談・支援センターニュース

昨年度（平成20年度）の相談実績

石川県高次脳機能障害相談・支援センターが開設され、今年の4月で3年目を迎えました。昨年度（平成20年度）の相談件数は、開設された平成19年度に比べて、50件ほど増加しました。

相談者は、ご家族や、ご本人からの相談が多くなっていますが、福祉施設関係からの相談も少しずつですが増えてきています。

相談内容は、ご本人の障害にどのように対応すればよいか、というような内容から、日中通える施設はないか、障害者手帳や障害年金について、など様々です。

就学に関する相談では、学校の先生や養護教諭の先生と連絡をとりあいながら、教室の環境を整えたり、ご本人に合った教材の工夫を考えたり、学校での関わり方などを一緒に考えたりしています。

また、就労に関する相談では、ご本人が退院後、職場復帰するために、職場担当者との話し合いに参加させていただき、今後の職場での生活についてご本人も含めて話し合うこともあります。その他に、障害者職業センターと連携をとり、職業適性検査で本人のできることを評価してもらい、職場復帰のための準備支援などに取り組んでいます。

相談件数

相談方法	延件数
電話	280
面接	111
メール・Fax	19
訪問等	18
計	428 (実件数79)

相談者（重複あり）

相談者	延件数
本人	107
家族・友人	188
医療機関	51
福祉施設	59
行政	22
患者団体	1
その他	35



家族教室のご案内

当センターでは、高次脳機能障害のある方のご家族を対象として、下記の日程で家族教室を開催いたします。高次脳機能障害に関する正しい理解を深めたり、他の家族と交流することを目的としています。

今年度は、北京パラリンピックの自転車競技で日本初の金メダルを受賞した石井雅史選手の奥様にも講演をいただく予定となっております。ご家族以外にも、支援関係者の参加もお待ちしております。

回	日	時間	内容	講師
1	平成21年 7月18日（土）	13時30分 ～ 15時30分	高次脳機能障害とは	リハビリテーションセンター 作業療法士 寺田 佳世 氏
2	平成21年 7月25日（土）		家族の対応について ～これまでの経験から感じる こと～	NPO法人 脳外傷友の会 ナナ 石井 智子 氏
3	平成21年 8月8日（土）		使える社会資源について	やわたメディカルセンター ソーシャルワーカー 林 真紀 氏

※ 会場は、リハビリテーションセンター4階研修室です。参加を希望される方は、事前にご連絡下さい。

生活支援教室について

高次脳機能障害のある方々が、一人一人に適した社会参加の方法を見つけ実現することを目的に、毎週水曜日の10時から15時まで、リハビリテーションセンター隣の「ほっとあんしんの家」で、生活支援教室を開いています。

毎回、スピーチやレクリエーション、グループワーク、体操などを実施し、参加者同士の交流や認知機能改善を図っています。昨年度は、自分史作りに取り組み、各自が自分史を作成し発表しました。

また、社会参加の一助となるように、自立支援法関連施設や、21世紀美術館などの社会見学、就労している当事者との交流会、家族会についての学習会などを行いました。

今年度も、料理や映画館への外出、クリスマス会や初春会などの楽しい企画も考えています。

これまでに教室を修了された方の3名が就労継続支援事業所等に通所、1名が専門学校に入学し、社会参加を実現しています。



↑料理の様子

教室に来ると自分の気持ちが大らかになるので、皆と会うのが楽しみです。

社会参加をしたいけど、なかなかうまくいかないなどお悩みの方は、ぜひ教室に参加して、自分にあった社会参加の方法を見つけて見ませんか？

多くの情報が入るので参考になります。スピーチで話す練習になります。

話すことで昔の自分の古い記憶を思い起こせるのがいい。



専門職研修会のご案内

高次脳機能障害の地域支援に関する理解を図り、効果的なリハビリテーションアプローチや退院時の支援について検討することを目的として、標記研修会を開催します。

日時：平成21年8月22日（土） 13:30～15:30

会場：石川県リハビリテーションセンター 4階研修室

内容：事例検討と講義「高次脳機能障害に対する地域支援の実際」

講師 世田谷区立総合福祉センター 作業療法士 繁野 玖美 氏

対象：県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等

参加費：無料

申込が必要です。当センターまでご連絡下さい。

生活支援教室から就労へ

Aさんは、平成20年7月にクモ膜下出血で倒れ入院されました。平成21年2月に退院した後、当センターの生活支援教室に継続して参加されていました。高次脳機能障害と失語症があり、教室では他のメンバーとのコミュニケーションが難しい場面もありましたが、Aさんの素敵なお人柄や、ジェスチャーで懸命に伝えて下さる姿などもあり、教室ではいつも人気者でした。Aさんも楽しそうに通ってきて下さいました。

今年3月に教室を修了され、次のステップとして障がい多機能型通所施設「サンサンクラブかがやき」に通い始めました。現在は、月曜日から金曜日まで、毎日公共のバスを使って通っています。

今回、Aさんが「サンサンクラブかがやき」でどのような活動をしているかを見せてもらい、Aさんの奥様や施設職員の方からのお話を伺いました。



Aさんの作業内容

焼きあがったパウンドケーキをカットして、一つ一つを袋に入れ、封をする機械を使って袋を閉じます。

その他にも、ケーキの材料を混ぜたり、きんつばの小豆を混ぜる作業を担当することもあります。

↑ 切ったケーキを袋に詰めています。

このように販売
しています！



奥様の声

担当のケアマネージャーに紹介されて通い始めました。

一般就労では、色々とお気を使っただけで心配することもたくさんありますが、ここに来ると周囲のみんなが分かってくれるので安心できます。

また、本人もここに来ると「必要とされている」ことが嬉しいようで、嫌がらずに通いお給料ももらってきています。困っていることは今のところほとんどないですが、夏場は暑いので週に1回くらいは休みたいと言っています。これからも、続けて通ってほしいと思います。

施設職員の声

Aさんにはたくさんの作業を行ってもらっています。他のメンバーが苦手としていた機械で封を閉じる作業も、Aさんは丁寧に取り組んでくれています。

サンサンクラブかがやきでは、これから事業所の前にオープンカフェも開きたいと考えています。

今回、Aさんの作業を見学させていただき、これまで生活支援教室では見ることでできなかったようなAさんの作業能力が発揮されており、Aさんも楽しく作業されていると感じました。これからも頑張してほしいと思います。センター職員一同、応援しています！ありがとうございました。



高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ からのお知らせ

前回のお知らせでは、〈作業所開所〉の報告をしましたが、残念なことに様々な理由で続けていくことが困難となり、一旦閉鎖することになりました。作業所へ通っていた当事者の方や、応援して下さった皆さんには本当に申し訳ない思いでいっぱいです。

今回の作業所の件では、たくさんのことを学びました。これからの家族会の活動へとつなげていきたいと思えます。これからも高次脳機能障害で悩んでいる方々のお役にたてるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

今後の活動は下記の通りです。

★7月19日(日)午後2時～ 家族会定例会 場所：ほっとあんしんの家

※8月以降も、第3日曜日の午後2時～定例会を開催する予定です。

★9月6日(日)に行なわれる「福祉のつどい2009金沢」へフリーマーケットに出展します。

※収益金は、高次脳機能障害啓発活動や生活訓練キャンプ、会の運営費の一助として使います。是非、皆様に品物の提供をお願いいたします。タオル、衣類、食器、日用品など、ご提供いただける品がありましたら、下記までご連絡下さい。



<連絡先>

金沢市久安2丁目429-2 あおいとリケアサービス内
Tel 076-247-5011

石川県高次脳機能障害相談・支援センターの案内

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1
石川県リハビリテーションセンター内
(石川県済生会金沢病院となり)
電話 076-266-2188
ファックス 076-266-2864
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 8時30分～17時15分
土曜日 8時30分～12時30分
面接相談：月～金曜日 8時30分～17時15分
(予約制)

(相談担当) 田中 佃 嬉野

